

労働組合として職場から丁寧な取り組みを!

書記長・組織部長

6月30日

会議を開催!



(組合員の購読料は組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5
交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 大沼 元
編集責任者 樋口孝重

No. 807 定価 20円

2018年

7月31日

仲間の信頼
力に変えて
さあ踏み出そう
組織の拡大へ



QRコードからでも閲覧できます
<http://www.e-nru.com/>

6月30日、東京地本会議室において、各地方書記長・各地方地区本部組織部長会議を開催しました。

矢部副委員長の司会では、じまり、大沼委員長から「東労組とJR東日本会社を巡る情勢を受けて今会議の開催となった。この間の各地の社員代表選挙の取り組みの結果や、未だルール通り



国労東日本本部は、この間の東労組とJR東日本会社を巡る情勢を受けて、通常の組織部長会議に各地方本部の書記長も加えた各地方書記長・各地方地区本部組織部長会議を6月30日に開催し、全体的な状況の共有と組織拡大への意思統一を図ってきました。

今号は、①各地方書記長・各地方地区本部組織部長会議、②東日本本部工務協議会第25回交流会、③第17回国労東日本本部運輸協議会貨物運輸士交流会、④第30回国労東日本電気職場交流会の報告とします。

運用されていない新エルダー制度の状況などについては、細かく検証をしながら改善への取り組みに繋がっていききたい。また、東労組の瓦解で合理化施策の速度が上げられている。運動の基盤となる交渉と現場での取り組みを通じて、粘り強く改善を求めていく」と挨拶がありました。

続いて伊藤書記長より、今年度の夏季手当に向けた取り組みと経過、組織強化・拡大の取り組み、労働条件改善・労働協約改訂に向けて提起がされ「大量脱退による東労組の影響力の低下は間違いなく、組織拡大に対する追い風であると同時に、業務を通じた様々な問

題の発生が推測される。引き続き職場で労働組合として顔の見える丁寧な取り組みが重要となる。労働組合そのものが否定されることのないよう警戒しながら、現場目線からの組織拡大に向け取り組みたい」と報告を行いました。

武田組織部長からは「12年連続となる高崎での新採加入や女性2名の加入などが続いている。これから研修後の配属等もあり、新採対策はまだ終了していききたい。傍観者になつていきたい。傍観者になつていくという報告がある。今の状況を活かし、拡大に繋げるために、東日本本部として全体で行

工務協議会 第25回交流会

6月9日～10日 開催!

6月9日、10日、茨城県大洗町において、東日本工務協議会第25回交流会が開催されました。今交流会は組織強化拡大と共に、今年

いやすい取り組みを提案していきたい」と報告されました。

その後、各地方から「若い仲間が加入した。この機会を逃がさないよう危機感を持つて取り組みたい」と組織拡大に向けた報告や、「新潟や高崎で新労組結成の動きがある」「会社側の労働組合を無視するような動きには公正・公平な対応を求めて欲しい」など各地の情勢報告がされました。

最後に矢部副委員長が「安心して働き続けられる職場をつくるため、東日本本部と連携を取りながら地方からの取り組みを続けて欲しい」とまとめて会議を終了しました。

3月に本社から提案された「保線部門におけるメンテナンス体制の最適化」で保線部門にかけられた合理化事案について、各地方で交渉が行われている最中での開催となりました。

打越事務長の司会ではじまり、丸谷工務協議長から「保線部門の合理化内容は、今後のメンテナンスが本当に守れるのか疑問を感じる。各地方での説明や基本要請で施策の問題点を洗い出し、会社に施策の見直しを要求して、労働条件や安全を守る交渉をしていく」と挨拶がありました。

来賓の東日本本部・伊藤書記長からは本社交渉の内容について、①夏季手当の取り組み状況、②この間の東労組を巡る状況と国労の組織強化・拡大の現状、③会社の効率化施策について報告を受けました。

討論に入る前に、湯浅前議長（高崎）と大津前事務長（東京）の今までの功績に「感謝状」と全体の大きな拍手で感謝の意を伝えました。

そして打越事務長から問題提起がされて討論に入り、各地方からは「7月1日実施のモニタリングシ



感謝状を送られた湯浅前議長と大津前事務長

テムの巡視や、閑散線区のパートナー会社への移管の説明が充分ではない」「出向への発令やエリアセンタ化での通勤や警備の対応などあらゆる部分で準備不足が否めない」といった状況が報告されました。

組織問題では、「東労組の弱体化に伴う設備部門で大量脱退が続いている」「国労への加入を呼び掛けているが反応が薄い」などの一方で、「社員代表戦では国労に投票した人がかなりいた」ことや、一部では国労が職場代表になった分会などもあり、「日頃の活動や世話役活動が地道に浸透していることも明らかに」なつて、組織拡大への一歩進んだ状況も出てきている。そこに自信を」といった報告もありました。

2日間の日程の中で最後に丸谷議長の集約と団結ファンパロウを行い、エリア交流会を無事行うことが出来ました。



その後は、参加者からの職場における取り組みの報告があり、1日目を

翌日は、真田議長からJR貨物で検討されている「新人事・賃金制度」についての報告を行い、

準備地本の八王子地区本部・田中委員長より、「駅委託化やメンテ効率化等

を取上げ、チェックを強める取り組み。④夏季手当交渉報告」について報告されました。

また「社員代表者選挙に絡んで、今後の職場での関わり方と対応について聞きたい」という東日本本部への質疑には、「代表を取るためには職場の問題解決の取り組みを地道に行うことが大切。一方で選挙や取扱いの諸問題を集約し、取扱いを厳正公正にする必要がある」と答弁しました。

二日目は各分科会を引き続き行い、最後に高橋議長が「昨年は基本要求を提出したが、今年には分科要求を作成したい。またスマートメンテ施策の実施に向けて情報の共有化を図り、要求作りをしていく。欠員状態や技術低下が

①夏季手当の闘い、②安全問題、③組織拡大の3点について報告し「この交流会を通じて労働条件改善と組織拡大を取り組

全国貨物協議会・真田議長からは、①大阪北部地震での被害状況、②株主総会、③夏季手当をめぐる会社状況、④18春闘での取り組み、⑤待機と休養の問題への取り組みの5点について、経過と闘いの展望について報告し、奮起を呼びかけました。

東日本本部・渡辺執行委員からは、JR東労組の脱退とJR東日本で起きている状況について報告しました。

高橋議長より「JR東日本会社発足後31年が経過。電気関係でも山手線電化柱倒壊や籠原構内がいし落下等、重大な事故が発生し続けている。これはメンテ合理化が背景にあり、交流会で施策の検証と労働条件改善に向けて討論を行い、一昨年から毎年本社交渉を展開してきた。会社の姿勢を変

安全・安定輸送を脅かしているが、それを食い止める電気協議会でなければならぬ。交流会に参加した若手の思いに組織拡大の熱意を貫いた。今まで以上に職場から奮起を」と締め括りました。

安全・安定輸送を脅かしているが、それを食い止める電気協議会でなければならぬ。交流会に参加した若手の思いに組織拡大の熱意を貫いた。今まで以上に職場から奮起を」と締め括りました。

安全・安定輸送を脅かしているが、それを食い止める電気協議会でなければならぬ。交流会に参加した若手の思いに組織拡大の熱意を貫いた。今まで以上に職場から奮起を」と締め括りました。

運転協議会 第17回貨物 運転士交流会 6月21日～22日 開催!

6月21日～22日、逗子市において、第17回国労東日本本部運転協議会貨物運転士交流会が開催され、北は青森から南は大阪までの貨物運転士が参加しました。

電気協議会 第30回電気 職場交流会 6月10日～11日 開催!

6月10日～11日、第30回国労東日本電気職場交流会が山梨県笛吹市において開催されました。若手4名も含めた71名が参加し、交流会を盛り上げました。

初日の全体集会は、岸副議長の司会で開会し、

二日目は各分科会を引き続き行い、最後に高橋議長が「昨年は基本要求を提出したが、今年には分科要求を作成したい。またスマートメンテ施策の実施に向けて情報の共有化を図り、要求作りをしていく。欠員状態や技術低下が

安全・安定輸送を脅かしているが、それを食い止める電気協議会でなければならぬ。交流会に参加した若手の思いに組織拡大の熱意を貫いた。今まで以上に職場から奮起を」と締め括りました。

通院・入院・抗がん剤・診断一時金
NEW/

新生きるためのがん保険 Days

女性特有のがんにも手厚い
NEW/

生きるためのがん保険 Days

はじめてダック

最新のがん保険、**新登場。**

アフラック

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)

アベニール株式会社

TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

©商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。
(引受保険会社)
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
東京第二法人営業部
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル17F
Tel.03-3344-1429 Fax.03-3344-4036
AF広宣課-2014-0044-1412506 8月25日



(電気協議会発)